

# みやた歯科通信

Vol. 9



## 「おそうじ」のお話・なぜ行うの？

宮田歯科医院では、初めて来院した方や久しぶりに来院した方はほとんど、

「では、おそうじをしましょう」と最初に言われます。

おそうじ？歯磨きなら毎日しているし、今日なんて特に、歯医者さんに行くから念入りに磨いてきたし、そうじの必要なんてないのでは。だからそうじなんてしないで真っ先に取り除いた歯をつけてほしい・・・治療を開始してほしい・・・と、思われる方も多いのではないのでしょうか。

## なぜ先生は「まず、おそうじをしましょう」と言うの？

一言で言ってしまうと、それは、すべての治療の前に「お口の細菌の種類を好ましい状態にしたいから」です。“おそうじ”といっても、皆様が食後に歯ブラシするのは目的が少し違うのです。歯科医院での「おそうじ」というのは、超音波の振動で汚れを落とす機械や、スケーラーという器具を使って、すみずみまで歯の汚れを取り去ることを指します。



## おそろしい、「こんめんふちやくぶつ根面付着物」

歯垢がそのまま歯に残ったまましていると、やがてお口の中の細菌が集まってきて細菌の塊を作ります。それはベタベタ、ヌルヌルしていて歯ブラシくらいでは簡単には取れなくなってしまいます。その状態を「バイオフィルム」と言います。やがてそれらの塊は歯石のように硬くなりながら歯茎の奥に侵入してゆきます。そうすると歯と歯茎の間に隙間ができて、歯茎が腫れたようになります。この細菌たちは強い毒性があって、ほっておくと体のあちこちに悪さをするようになります。このように歯の根の部分にこびりついた細菌の塊を「根面付着物」と言います。歯周病の治療の基本は、この恐ろしい根面付着物を完全に取り除くことにあります。歯茎の浅いところの根面付着物は超音波やスケーラーで比較的簡単に取れます。



《うらに続きます》

# 「おそうじ」でお口の中の細菌の状態を変える！

こちらの表を見てください。

	善玉菌：悪玉菌(虫歯菌)	歯周病菌	がんきん桿菌(好ましくない菌)
健康なお口	善 3 : 悪 1	25%	50%
歯周病のあるお口	善 1 : 悪 2	90%	95%

歯周病がないお口の中からは、歯周病菌はわずかしか見つかりません。また、消化を助けたり、お口の中を正常に保つ役割のある[善玉の細菌]が、毒性の強い[悪玉の細菌]を圧倒していて、健康的なバランスを取っています。一方、歯周病の患者さんのお口の中はそれが逆転しています。放置しておくといっそう悪循環を起こして、お口の中はひどい悪臭を発生しはじめます。

こんな状態でも、根気よく「おそうじ」を続けると、自分でもびっくりするくらいお口の細菌のバランスが好転するのです。ですから、宮田歯科医院では患者さんへの「おそうじ」を欠かさないのです。事実、歯周病の治療を終了して、メンテナンスとして一年に数回、この「おそうじ」をするだけで全く再発しない患者さんがたくさんいらっしゃいます。

## プロフェッショナル・ケアは歯科衛生士におまかせ！

宮田歯科医院には「おそうじ」のプロである歯科衛生士が3名常駐して、皆様のお口のケアを担当しています。

### 「おそうじ」のメリット

歯周病になりにくなる

虫歯になりにくなる

口臭がなくなる(減る)

かぶせたさし歯や冠などが長持ちする

美味しく食べられる

「おそうじ」は一度してもらおうとクセになる方も多いのですが、あまり必要を感じていなかった方もいらっしゃるかもしれません。「おそうじ」、重要ですよ！！ぜひ積極的に「おそうじ」されてみてくださいね♪



2011.5.31